



飼は食を司る

中間株主通信

第77期中間報告書 | 2023年4月1日から
2023年9月30日まで

 **中部飼料株式会社**

証券コード:2053

目次

- ・株主の皆様へ
- ・セグメント別概況
- ・中間連結財務諸表
- ・クローズアップ <マルナカ>
- ・株式状況・会社概要
- ・拠点紹介

株主の皆様へ



代表取締役社長 平野 晴信

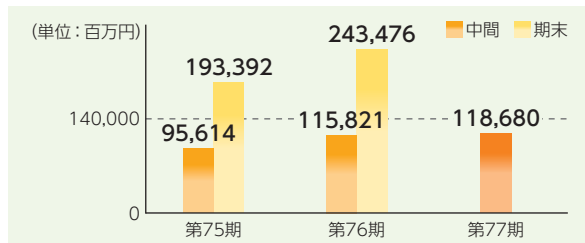
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

ここに、中部飼料株式会社 第77期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の中間株主通信をお届けいたします。

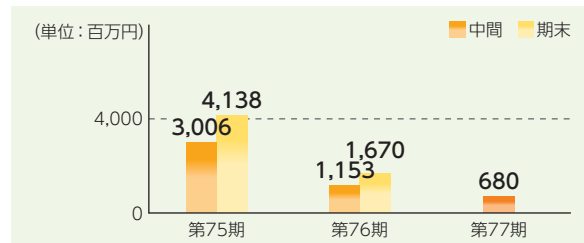
飼料業界におきましては、外国為替相場が円安基調で推移したものの、昨年夏から上昇基調にあった主原料のとうもろこし価格が年明け以降下落基調に転じたため、原材料価格は低下しております。このような状況を反映して、当社は4月及び7月に配合飼料価格を値下げしました。また、飼料メーカーが負担する飼料価格安定基金負担金単価の高止まりや、過去最大規模で広がった鳥インフルエンザの影響による採卵鶏用飼料の流通量減少など、厳しい事業環境は続いております。

このような状況のなか、当社グループは飼料セグ

売上高 1,186億80百万円（前年同期比2.5%増）



営業利益 6億80百万円（前年同期比41.0%減）



メントの収益力向上と規模拡大、その他セグメントの事業成長の加速、成長する収益基盤を支えるサステナビリティ経営の推進の3つの基本戦略を基に、強固な収益基盤の構築に努めてまいりました。

その結果、当中間連結累計期間の業績は、売上高は、前年同期比2.5%増の1,186億80百万円、営業利益は、前年同期比41.0%減の6億80百万円、経常利益は、前年同期比32.3%減の9億43百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比180.7%増の7億64百万円となりました。経常利益が減益だったものの親会社株主に帰属する中間純利益が増益だった主な要因は、固定資産売却益が増加したことや前期に特別損失に計上した貸倒引当金繰入額がなくなったためであります。

また、第77期の通期見通しにつきましては、売上高2,360億円（前期比3.1%減）、営業利益19億円（前期比13.7%増）、経常利益22億円（前期比6.3%

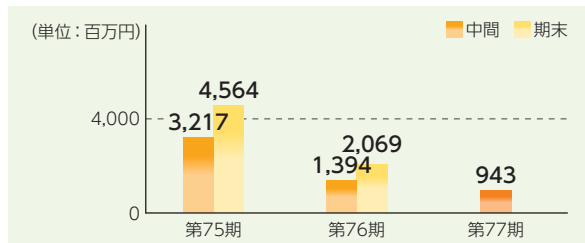
増）、親会社株主に帰属する当期純利益15億円（前期比81.2%増）を見込んでおります。

株主の皆様への利益還元につきましては、当社の還元方針を安定配当の維持向上とし、将来の事業展開や経営環境の変化に対応するために必要な内部留保、業績及び純資産配当率（DOE）等を勘案し、配当を決定しております。この還元方針に基づき、第77期の中間配当金は、1株につき17円とさせていただきます。また、期末配当金は、1株につき17円を予定しており、年間の配当金は、前期と同額の1株につき34円となる見込みです。

株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

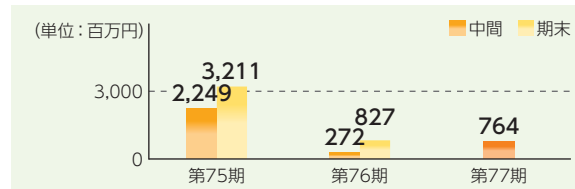
2023年12月

経常利益 9億43百万円（前年同期比32.3%減）



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

7億64百万円（前年同期比180.7%増）



セグメント別概況

飼料

畜水産飼料の製造販売

業績

売上高は、畜産飼料販売量が前年同期を下回ったものの、平均販売価格が上回ったため、前年同期比2.2%増の1,117億89百万円となりました。セグメント利益は、前年同期比13.6倍の9億79百万円となりました。畜産飼料は、養鶏用飼料の販売量減少や電力費をはじめとする物価上昇による製造コストの増加があったものの、原料ポジション改善による利益率向上や貸倒引当金繰入額の減少などにより、増益となりました。また、水産飼料は、販売量が減少したものの主原料の魚粉価格高騰を上回る値上げや新製品の投入などにより、業績が向上しました。

売上高

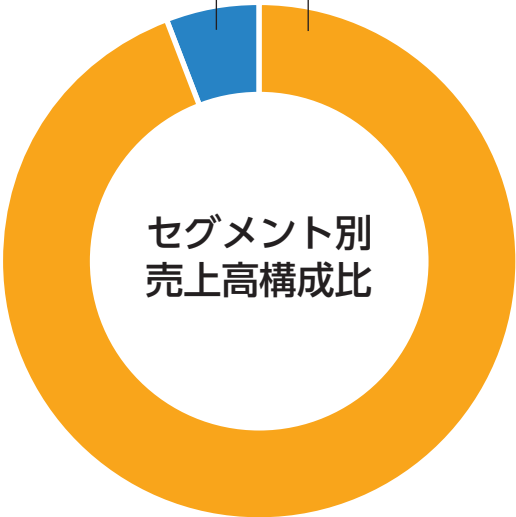
1,117億89百万円
(前年同期比**2.2%**増)

セグメント利益

9億79百万円
(前年同期比**13.6**倍)

その他 **5.8%**
(68億91百万円)

飼料 **94.2%**
(1,117億89百万円)



養鶏用飼料



養豚用飼料



養牛用飼料

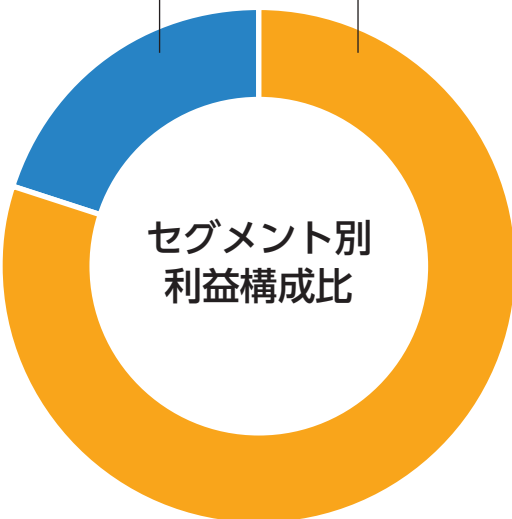


養魚用飼料

その他
20.0%
(2億45百万円)

飼料
80.0%
(9億79百万円)

セグメント別 利益構成比



その他

消費者向けの畜水産物の販売、畜産用機器の販売、
肥料の製造販売、不動産賃貸、保険代理業

業績

売上高は、前年同期比7.3%増の68億91百万円、セグメント利益は、前年同期比44.7%減の2億45百万円となりました。鶏卵販売は、卵価高を受け増収となったものの、量販向けの販売が伸び悩み減益となりました。肥料及び畜産用機器は、販売が前年同期を大幅に下回り、減益となりました。

売上高

68億91百万円
(前年同期比**7.3%**増)

セグメント利益

2億45百万円
(前年同期比**44.7%**減)



中間連結財務諸表

● 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 (2023年3月31日)	当中間期末 (2023年9月30日)		前期末 (2023年3月31日)	当中間期末 (2023年9月30日)
(資 産 の 部)			(負 債 の 部)		
流 動 資 産	66,610	68,700	流 動 負 債	28,907	30,365
現金及び預金	1,963	1,768	買 掛 金	17,714	19,581
受取手形及び売掛金	44,616	48,894	短 期 借 入 金	6,363	4,831
商 品 及 び 製 品	3,324	3,087	1年内返済予定の長期借入金	1,846	1,924
仕 掛 品	772	716	未 払 法 人 税 等	101	292
原材料及び貯蔵品	13,119	11,470	賞 与 引 当 金	380	556
そ の 他	3,242	3,137	役 員 賞 与 引 当 金	27	8
貸 倒 引 当 金	△428	△374	そ の 他	2,473	3,169
固 定 資 産	30,984	33,353	固 定 負 債	7,276	8,574
有形固定資産	24,602	25,445	長 期 借 入 金	4,160	4,730
建物及び構築物	8,672	9,815	退職給付に係る負債	535	537
機械装置及び運搬具	6,550	6,581	資 産 除 去 債 務	71	71
工具、器具及び備品	1,130	1,183	そ の 他	2,509	3,235
土 地	7,049	7,046	負 債 合 計	36,184	38,939
建設仮勘定	1,198	818	(純 資 産 の 部)		
無形固定資産	512	447	株 主 資 本	59,887	60,152
投資その他の資産	5,869	7,460	資 本 金	4,736	4,736
投資有価証券	4,843	6,518	資 本 剰 余 金	4,325	4,312
そ の 他	2,148	2,063	利 益 剰 余 金	51,791	52,053
貸 倒 引 当 金	△1,122	△1,121	自 己 株 式	△966	△949
資 産 合 計	97,595	102,053	その他の包括利益累計額	1,293	2,721
			その他有価証券評価差額金	1,201	2,363
			繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△31	218
			為 替 換 算 調 整 勘 定	56	84
			退職給付に係る調整累計額	66	54
			非支配株主持分	230	240
			純 資 産 合 計	61,410	63,114
			負 債 純 資 産 合 計	97,595	102,053

● 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	当中間期 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)
売上高	115,821	118,680
売上原価	108,953	111,856
売上総利益	6,867	6,824
販売費及び一般管理費	5,713	6,143
営業利益	1,153	680
営業外収益	258	286
受取利息	2	0
受取配当金	129	136
持分法による投資利益	38	59
貸倒引当金戻入額	0	0
債務保証損失引当金戻入額	10	—
その他	76	89
営業外費用	17	23
支払利息	14	23
その他	2	0
経常利益	1,394	943
特別利益	3	65
固定資産売却益	3	65
特別損失	1,043	1
固定資産除売却損	3	0
投資有価証券評価損	—	0
貸倒引当金繰入額	1,040	—
税金等調整前中間純利益	353	1,007
法人税、住民税及び事業税	418	274
法人税等調整額	△340	△39
法人税等合計	77	235
中間純利益	276	771
非支配株主に帰属する中間純利益	3	7
親会社株主に帰属する中間純利益	272	764

● 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	当中間期 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	△6,054	3,005
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,487	△1,826
財務活動による キャッシュ・フロー	5,579	△1,384
現金及び現金同等物に 係る換算差額	24	10
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△2,938	△194
現金及び現金同等物の 期首残高	4,741	1,953
現金及び現金同等物の 中間期末残高	1,803	1,758

◇フードロスの削減に貢献

食品の製造工程では、油を搾り取った後の大豆油粕や菜種油粕、小麦粉を精製する際に生じるふすま等様々な副産物が発生します。これらの副産物は食用に適さないため、再利用できなければ大部分は廃棄せざるを得ません。



当社は、限りある資源を有効活用するため、これらの食品副産物のほか、独自の取組みとして、規格外のにんじんを乾燥させたにんじんチップ等も原料として使用しております。

食品副産物や人間の食用に適さない農産物を積極的に飼料原料として使用することで、フードロスの削減に貢献しております。

また、さらなるフードロス低減のために、食品残渣も活用しております。



『第18回 食育推進全国大会inとやま』に参加しました ※昨年に引き続き、2年連続での参加

大会概要

- 日 時：2023年6月24日、25日
- 場 所：富山産業展示館 テクノホール
- 来場者数：延べ23,300名
(当社ブース訪問者数：1,343名)
- テー マ：食で心も体も幸せに とやまから広げるウェルビーイング
～未来へつなげよう 幸せの基盤～



当社ブースの様子

普段目にするものではない飼料やその原料に実際に触れたり、匂いをかいだりしていただきました。また、飼料にまつわるクイズに答えることで、飼料への関心を高めていただきました。



卵黄の色は飼料の中身の違いによって変わります。実際に卵黄の色が異なる卵を展示したところ、多くの方に興味を持っていただくことができました。



◇会計監査人の変更について

当社の会計監査人である名古屋監査法人（消滅監査法人）は、2023年10月2日付で、双研日栄監査法人（存続監査法人）及び青南監査法人（消滅監査法人）と合併し、同日付でふじみ監査法人に名称変更いたしました。これに伴い、当社の監査証明を行う監査公認会計士等は、ふじみ監査法人となりました。

株式状況・会社概要

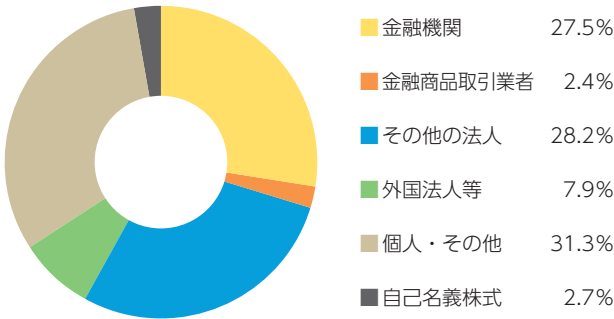
株式状況（2023年9月30日現在）

- 発行可能株式総数 80,000,000株
- 発行済株式の総数 30,371,908株
- 株主数 9,481名
- 大株主

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3,004	10.16
日本生命保険相互会社	1,486	5.02
豊田通商株式会社	945	3.19
日本ハム株式会社	945	3.19
平野殖産株式会社	893	3.02
株式会社三菱UFJ銀行	800	2.70
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	797	2.69
丸紅株式会社	752	2.54
東北グリーンターミナル株式会社	679	2.29
東京海上日動火災保険株式会社	660	2.23

（注）持株比率については、自己株式（810,566株）を控除して算出しております。

■所有者別株式比率



会社概要（2023年9月30日現在）

- 会社名 中部飼料株式会社
CHUBUSHIRYO CO., LTD.
- 本店所在地 名古屋市中区錦二丁目13番19号
- TEL 052-204-3050
- 設立 1949年3月24日
- 資本金 4,736百万円

■取締役及び監査役

- | | |
|---------|---------|
| 代表取締役社長 | 平野 晴 信 |
| 取締役副社長 | 藤田 京 一 |
| 常務取締役 | 伊藤 敏 宏 |
| 取締役 | 全 屋 和 夫 |
| 取締役 | 酒 井 映 子 |
| 取締役 | 太 田 和 人 |
| 取締役 | 亀 井 淳 |
| 取締役 | 柴 田 由 紀 |
| 常勤監査役 | 若 山 茂 樹 |
| 監査役 | 柴 垣 信 二 |
| 監査役 | 大 橋 英 之 |
| 監査役 | 茂 野 祥 子 |

（注）取締役酒井映子、太田和人、亀井淳及び柴田由紀並びに監査役柴垣信二、大橋英之及び茂野祥子は、社外役員であります。

拠点紹介

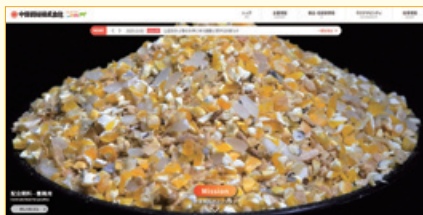


株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所	東京証券取引所・名古屋証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.chubushiryo.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱ＵＦＪ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱ＵＦＪ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱ＵＦＪ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱ＵＦＪ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱ＵＦＪ信託銀行本支店でお支払いいたします。



ホームページのご案内

当社のホームページでは、会社概要やIRの最新情報などをご参照いただけます。
なお、スマートフォンにも対応しております。

<https://www.chubushiryo.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。